※令和４年度以降入学生用

学校番号	1014

令和８年度看護科

教科	看護	科目	基礎看護	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	基礎看護（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・人体の動きをうまく利用するキネステティクスを学びます。
・日常生活援助を通して、他者とのコミュニケーションや、自身で工夫する力を身につけてください。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけではではなく、授業のポイントや自身で気付いたことをノートの枠外に記入していきましょう。
・実習には積極的に参加し、多くの気づきを得られるようにしましょう。

2　学習の到達目標

・基本的な看護知識を身につける。
・看護職を目指すにあたり、コミュニケーションの基礎となる力を身につけ、他者のことを考え、行動することができる。
・安全や安楽について考え、自分の意見を述べることができる。
・ひとつひとつの看護技術に興味・関心を深め、自ら学ぶ意欲を高めていく。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基礎看護にかかわる基礎的・基本的な知識・技能を身につける。日常生活援助における手順におけるポイントを理解し、実際に行動に移す。 看護の意義と保健・医療・福祉における看護の意義や役割を理解する。	看護の基本的な知識・技能を活用して看護活動における安全・安楽について考え、自分の考えを表現し、援助に取り入れる力を身につける。身の回りにあるものを活用し、創意工夫してできる援助を考える。	看護の意義と保健・医療・福祉における看護の意義や役割について様々な視点から物事をみて、向上心を持って授業や実習に取り組む。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	感染予防	感染経路について 衛生学的手洗い 手指消毒	a: 自身の今までの感染予防と医療における感染予防の違いを理解し、感染に関する基本的な知識を習得している。 b: 感染予防を怠るとどのようなリスクがあるか、どのような点に注意すべきかを表現することができる。 c: 自身の今までの感染予防と医療における感染予防の違いを理解し、主体的に技能を身につけようとする。	レポート 小テスト	レポート 小テスト	実習態度 行動の観察 記述の点検

※令和４年度以降入学生用

	看護の意義	健康とは 看護の目的 看護の役割	a: 健康の定義や看護の目的について理解することができる。 b: 看護の役割を理解したうえで医療従事者としての考えを適切に表現できる。 c: 医療従事者としての倫理観や価値観を身につけるために主体的に取り組むことができる。	レポート 小テスト	レポート 小テスト	行動の観察 記述の点検
	環境整備	環境とは 療養生活の環境 ベッドメーキング	a: 患者が安心・安全に療養できる環境について理解する。ベッドメーキングの必要性、手順について理解する。 b: 患者の病態によって環境整備の内容は異なることを理解しうえで、ポイントをおさえて言葉で表現し、実施することができる。 c: 周囲の状況を観察し、必要な援助を積極的に行おうとすることができる。	レポート 定期考査	レポート 定期考査	実習態度 行動の観察 記述の点検
後期	清潔援助	皮膚の役割 清潔保持とは 手浴・足浴	a: 皮膚の構造を理解したうえで、清潔保持の意義を理解し、援助についての知識を身につける。 b: 安全・安楽について考え、事故を起こさないために必要なことを考え、行う。 c: 積極的にコミュニケーションをとり、患者役に快適な援助を行う姿勢がみられる。	記述の確認 レポート 小テスト	記述の確認 レポート 小テスト	実習態度 行動の観察 記述の点検
	バイタルサイン	バイタルサインの定義 体温測定 脈拍測定 血圧測定	a: バイタルサインについて理解し、各項目の知識を習得している。 b: バイタルサインの重要性を理解し、必要性を表現することができる。記述の確認、レポート c: バイタルサインの実技において複数のことを同時にこなそうとする積極性がある。	記述の確認 レポート 定期考査	定期考査	実習態度 行動の観察 記述の点

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度